

## 様式第2号（第8条関係）

## 審議会等会議録

会議の名称	令和7年度 第2回 加須市総合振興計画審議会
開催日時	令和7年11月13日（木） 午後3時30分から午後4時50分まで
開催場所	加須市役所 本庁舎5階 505会議室
議長氏名	石上 泰州会長
出席委員	石上 泰州会長、石川 安則副会長、内田 親委員、 尾高 幸江委員、小西 七郎委員、内田 俊輔委員、 市川 邦夫委員、鈴木 君恵委員、山中 哲大委員、 大塚 利雄委員、風間 啓委員、庭山 正幸委員、 佐藤 政代委員（13人）
欠席委員	武正 寿明委員、嶋田 善市委員、小山 郁子委員、眞中 紀委員、 坂本 優太委員、大河内 修治委員、高柳 正行委員（7人）
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 （1）第2次加須市総合振興計画の改訂（案）について （2）その他 4 閉 会
会議資料の名称	・次第 ・第2次加須市総合振興計画 I 序論（案） ・第2次加須市総合振興計画 II 基本構想（案） ・第2次加須市総合振興計画 III 後期基本計画（案）
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	副市長 萩原 利一、総合政策部長 石井 幸子、 経済部長 野崎 修司、健康スポーツ部長 松永 勝也、 政策調整課長 濑田 博之

事務局職員職・氏名	副市長 萩原 利一、総合政策部長 石井 幸子、 環境安全部長 増田 浩之、経済部長 野崎 修司、 こども局長 田村 穎子、健康スポーツ部長 松永 勝也、 都市整備部長 増田 英二、生涯学習部長 斎藤千恵美、 政策調整課長 濑田 博之、同課主幹 白戸 浩貴、 同課主幹 萩原 宏和、同課主査 古本 有里沙、 同課主任 郎木 孝明
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
萩原副市長	2-1 副市長あいさつ
石上会長	2-2 会長あいさつ
事務局	以後の議事進行については、石上会長にお願いしたい。
石上会長（議長）	3 議事（1） 第2次加須市総合振興計画については、序論、基本構想、後期基本計画という3段構成となっているため、まず、序論（案）及び基本構想（案）について、事務局から説明をお願いする。  (資料に基づき説明)
瀬田政策調整課長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 (意見等なし) 気付いた点があれば、後ほどでも構わないのでご発言いただきたい。 続いて、後期基本計画（案）について、事務局から説明をお願いする。
瀬田政策調整課長	(資料に基づき説明)
石上会長（議長）	変更点について説明をいただいた。変更点はこれで全てか。
瀬田政策調整課長	時間の都合上、代表的、特徴的な変更点について、かいつまんで説明申し上げた。
市川委員	かぞマインが閉店し、駅周辺に商業施設が無くなった。加須市では、ねんりんピックを来年11月8日、9日に開催する。その際に日本中の選手が来るが、加須駅に電車で来た人は、「なぜ加須駅はこのようなところなのか」と感じると思う。今後の商業施設の利活用の計画はあるのか。業者と連携した再利用の考えはあるのか。 また、現在、加須のまちの中はシャッター街となっているが、私が若い頃は、お祭りの際は人が通れないほどたくさんの店があり、色々なイベントもやっていた。川越市のような人を呼び込むまちづくり、商店街の事業者への補助や、商店街の方との相談などは行っているのか。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
野崎経済部長	<p>1点目の質問に関して、かぞマインは、昭和60年の設置から40年近くが経過し、商業環境の変化で残念ながら閉店した。加須市の玄関口であるので、現在の状況は重く受け止めている。建物と土地を管理する東武鉄道と話し合いを重ねており、東武鉄道からはあらゆる可能性について検討していると聞いている。かつては駅前の一等地であったが、ロードサイドへの商業施設の展開など、商業情勢が変わった。そのため厳しいところはあるが、東武鉄道としても一生懸命頑張っていると伺っている。市として、今後どのような役割を果たせるのか、東武鉄道と粘り強く交渉を重ねたい。</p>
	<p>2点目の質問に関して、かつてのまちなかの賑わいが無くなってしまっており、駅通りもシャッターが閉まっている店舗が増えている。商店街の事業者に対しては、各商店街のイベントへの支援や中心市街地の売り出しの支援を行っている。駅通り周辺においても、空き店舗を活用し起業している事業者も見られ、かつてと同じ店ではないが新しい業種の店が入っている状況もある。市としては、このような新たな活力に対しても、補助金による支援を行っているところであり、今後も状況をよく見ながら市としてできる支援を継続していく。</p>
風間委員	<p>かぞマインが閉店し、人通りや活気がなくなり、状況は厳しいと肌で感じている。私が運営しているカフェに来るお客様は、駅前なので、車を使わずに電車で都内から仕事や遊びでいらっしゃる。その中に、レンタサイクルを利用される方がいた。聞いたところ、羽生市にある「さいたま水族館」や温泉などに行くとのことであった。このように、休日を観光地で過ごすというよりも、ちょっとしたリラックスとして田舎を回る遊び方をする若者も増えてきている。自転車は面白いと思っているが、現行計画の観光に関連したKPIや施策において、「カゾリング」に関する設定が無いと思われる。今回の見直しで変更があれば教えていただきたい。</p>
野崎経済部長	<p>「カゾリング」は、自転車を用いたまちなか巡りや周遊など、令和2年に立ち上げ進めてきている取組で、市としても新しいツールとして注目すべきものとして取り上げている。後期基本計画では、61ページに「観光入込客数」や「うどんとこいのぼりを活用した取組数」などのKPIを3つ挙げている。自転車による取組はKPIには入っていないが、令和8年度に観光部局で策定する予定の「誘客促進ビジョン」において、物産観光協会の法人化など新たな動きを踏まえた今後の観光を考えたいと思っており、その中で、自転車による誘客についても検討していく。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
風間委員	今後は、物産観光協会の中で「カゾリング」を盛り上げていくという理解でよいか。
野崎経済部長	<p>「カゾリング」の具体的な取組については、「誘客促進ビジョン」において、物産観光協会が担う役割も含めて整理していきたいと考えている。</p>
尾高委員	<p>お年寄り、特に1人暮らしの方が一番大変な思いをしていることは買い物である。私が住む大桑地区では、東武鉄道を利用して花崎駅からかぞマインへ買い物に行く方が多くいらっしゃった。かぞマインの閉店によりそれができなくなり、「大変だよ」という声も聞く。</p> <p>このため、市にも尽力いただき、土地の所有者と調整の上、移動スーパーに巡回してもらっている。これから先、かぞマインのような商業施設が無くなってしまうと、宅配や移動スーパーに頼ることになる。活気あふれる街に戻してほしいとまではいわないが、お年寄りが気軽に買い物ができる施設が増えることを期待している。</p>
野崎経済部長	<p>高齢者の買い物の件は大きな問題と捉えている。かぞマインの閉店による影響を少しでも補完するべく、現在、移動スーパーが3社展開している。移動スーパーの巡回場所などについては、自治会や地域ブロンズ会議、民生委員、既存店の意見を聞きながら設定しているところである。このほか、市の循環バスやデマンド型乗合タクシー、商工会による買い物の付き添い等を行う「ちょこっとおたすけ紹介サポート事業」など既存事業もご利用いただき、隙間を埋めていただきたいと思っているが、今ある事業が全てではなく、皆様の声を伺いながら充実できるよう努めていきたい。</p>
佐藤委員	<p>私は審議会に公募で参加している。公募するに当たって初めて総合振興計画を目にした。それまでは一市民として、市が検討していることや計画していることを知らなかったが、今回の改訂案に一通り目を通し、素晴らしいと感じた。特に、「みんなでつくる 元気あふれる 安全・安心・未来のまち 加須」という将来像が心に刺さった。行政だけでなく市民1人1人が何かしら自分のできることを探して取り組んでいかなければならないと感じた。市は、この計画をどのように市民の目に留まるようにしているのかお聞きしたい。</p>
石井総合政策部長	<p>励みになるご意見をいただいた。総合振興計画の基本構想は10年間の計画期間であり、基本計画は5年ごとに改訂している。改訂の度</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
庭山委員	<p>に市民にアンケート調査を行っており、また、広報紙での取組状況の紹介や、計画の概要版について全戸配布を行っている。色々な場面で総合振興計画を紹介できるよう工夫したい。</p>
松永健康スポーツ部長	<p>私も審議会に公募で参加している。43年前に転入してきたが、実際に住んでみて、自然災害の脅威が少なく、近くに豊かな自然もたくさんあり、とても気に入っている。43年前は東京に通勤していて大変だったが、今では、働き方改革やリモートワークにより、加須市に住んで東京で仕事することも可能だと思う。若い人に加須市に移住してきてもらうことを希望している。一方で、勤めていた当時、「加須市は何と読むの?」、「どこにあるの?」とよく聞かれ、加須市の認知度が低いことを残念に思っていた。このため、誇りに思っている加須市の良さを市外にアピールする機会を作っていくべきだと思っている。後期基本計画を見ると、例えば「スポーツ元気都市宣言」という素晴らしい構想を挙げている。積極的にスポーツに取り組んでいこうとすることは、明るく、市外へ訴えかけるには良い面だと思う。後期基本計画の18、19ページには、女子野球、スポーツクライミング、自転車を積極的に支援しているとあるが、ぜひここに、サッカー、特に女子サッカーを追加して応援していかないかと思っている。その理由として、市内には埼玉県サッカー協会が管理運営するSFA フットボールセンターがある。休日には多くの大会が開催されていて、駐車場には熊谷ナンバー以外の県内・県外ナンバーの車がたくさん来ている。集まってくる人たちに対し、加須市はサッカーを応援していることや、加須市の良さをPRしていけば、加須市の良いところが広まっていくのではないか。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
小西委員	<p>花崎一丁目の自治会長を15年務めており、以前は加須市議会議員を20年務めた。加須へ来て46年になる。加須市で歴史的に1番有名なものは何か、市議会議員時代に当時の市長と考えてきた。やはり日本人の心は神社仏閣であり、これがしっかりとすればまちや社会が廃れようともしっかりと立ち直ることができる。30年前に関東三大不動の一つである不動ヶ岡不動尊を復興させようという考えを持って、手始めにやりかけたことがある。しかし、今回の計画案を見ると、そのようなことが触れられていない。当時は、東武鉄道と協力して「西駅」を作り、不動尊から駅までアーケードを設置して、雨が降ったとしてもお参りできるようにすることを構想していた。それは実らなかつたが、私は、神社仏閣が栄えているまちはつぶれないと思っている。加須には大きな資産がある。これに地元の人が気付き、何としても復興させようという機運が高まれば、加須の未来は大きく開けると期待を持っている。</p>
野崎経済部長	<p>加須市の観光や地域資源で大きく全国に知られるのは、例えば5月3日のジャンボこいのぼりや北川辺地域の渡良瀬遊水地などがある。また、社寺仏閣、不動尊や玉敷神社等、市内には歴史あるものが多くあり、これらについては後期基本計画でも位置付けを予定している。貴重な観光資源を今後更にどう活用していくのかについては、令和8年度に策定予定の誘客促進ビジョンでも詳細に位置付けたいと考えている。行田市では、かつて映画の舞台となつた城を市外からの観光客が歩く姿が見られる。こうしたところも参考にしながら、加須の貴重な観光資源をどうPRするか、どうしたら来ていただけるか、物産観光協会とも連携しながら良いシナリオを描いていきたい。</p>
石上会長（議長）	<p>大変貴重なご意見、ご指摘をいただいた。シャッター街の問題や、買い物難民の問題、市の知名度など、個別具体的な問題の解決につながることがこの計画に記載されることを望む。</p> <p>改めてご意見・ご質問があれば、後日でも構わないので事務局までお寄せいただきたい。</p> <p>委員の皆様には、活発かつ建設的なご意見をいただき、感謝申し上げる。本日の意見については、事務局にて整理して適切に対応いただきたい。</p>
石上会長（議長）	<p>3 議事（2）</p> <p>続いて、議事（2）その他について、事務局から説明を求める。</p>

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
瀬田政策調整課長	(改訂素案について 11月20日から12月19日の1箇月を目途にパブリックコメントを実施し、パブリックコメントを踏まえ庁内の本部会議で調整した最終案について、1月中旬に審議会で審議いただくことについて説明)
石上会長（議長）	次回の会議について、詳細が決まつたら事務局からご案内する。また、会議資料についても早めの送付をいただきたい。 以上をもって、本日予定された議事を全て終了する。
事務局	4 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。	
令和7年 12月 5日	
署名 <u>石上泰介</u>	